

# 福整広報



2026.3  
No.52

公益社団法人 福岡県柔道整復師会

# 目次

巻頭言	会長 塩川 哲也…………… 2～3
年頭挨拶	副会長 重松 哲夫…………… 4
	顧問 松岡 保…………… 4
	相談役 村田 栄治…………… 5
	顧問 弁護士 堀内 恭彦…………… 5
	顧問 公認会計士 吉村 祐二…………… 6
	総務部長 西宮 裕二…………… 7
	経理部長 久保山 茂…………… 7
	保険部長 白木 雅巳…………… 8
	学術部長 敷田 和彦…………… 9
	広報部長 柴田 修一…………… 9
	外部理事(司法書士) 原口 智吉…………… 10
	監事 上田 康妃…………… 10
	外部監事(公認会計士) 峯 昌広…………… 11
令和7年度 定時総会	議長 相良 昌策…………… 12
理事会報告・会務執行状況報告	総務部長 西宮 裕二…………… 13～17
保険部だより	保険部長 白木 雅巳…………… 18～22
表彰者紹介	…………… 23
日整・九プロ 第34回 日本柔道整復接骨医学会学術大会	学術部長 敷田 和彦…………… 24
第44回 日整全国柔道大会	副会長 重松 哲夫…………… 25
第34回 日整全国少年柔道大会・第15回 日整全国少年柔道形競技会	副会長 重松 哲夫…………… 26
第52回 九州学術大会福岡大会	学術部長 敷田 和彦…………… 27
令和7年度 匠の技伝承プロジェクト	学術部長 敷田 和彦…………… 28
県行事 第43回 福岡県少年柔道大会	大会委員長 西宮 裕二…………… 29～30
第34回 福岡県整骨医学会・生涯学習研修会	学術部長 敷田 和彦…………… 31
令和7年度 各地区保険研修会	保険部長 白木 雅巳…………… 32
令和7年度 超音波観察装置研修会	超音波観察装置委員会 委員長 大原 康宏…………… 33
令和7年度 新入会員保険研修会	保険部長 白木 雅巳…………… 34
新入会員紹介	…………… 35～36
事務局より	事務局 局長 後藤 祐司…………… 37
投稿についてのお願い／表紙の写真に添えて／編集後記	広報部長 柴田 修一…………… 38

# 巻 頭 言



## 刷新断行

会長 塩川 哲也

令和8年(2026)の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の先生方におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと思われまします。今年が幸多い年であることを祈念申し上げます。

昨年は先生方に多大なるご協力を賜り、当会の運営並びに各種事業が、滞りなく執り行うことが出来ました。心よりお礼申し上げます。

公益法人である本会をご承知の通り、柔道整復師の職能団体として、会員の専門性の維持・向上や、専門職としての待遇や利益を保持・改善するための組織であり、会員の為に存在しています。

早いもので会長職を仰せつかり、一期2年が経過した訳ですが、一期目の総仕上げとしまして、これまでにない大胆な機構

改革を打ち出し、支部の廃止並びに役員定数の削減及び外部理事、監事の導入を行うことを理事会で可決いたしました。

支部の廃止や役員定数削減によって業務進捗に支障が出るのではないかと懸念された先生方もおられたと推察いたしますが、定時総会に上程のうえ、賛成多数で皆様にご承認を頂いたところです。

そして令和7年度役員改選において新役員10名が選任され、私も会長職として2期目を仰せつかることとなりました。大変身の引き締まる思いですが、新役員共々気持ちを新たに団結して、全役員が責任を持って本会運営に取り組んで行くことと決意いたしました。

この度の機構改革で組織を大幅にコンパクトにしたことに伴い、全体や各部の業務を再考し、会議の種類や回数と部員の削減、そして事務局との連携など、あらゆる見直しを実施いたしました。

本会が現在置かれている状況は、会員数や会費収入が右肩上がりだった時代ではなく、共に減少傾向が続いています。困難な状況であるが故に、組織全体で一致

団結し、乗り越えるために協力し合う環境を作っていくことが、本会を将来的に発展させていくため必要だと考えます。

現在、総務部、経理部、保険部、学術部、広報部、事務局の縦割り主義や無干渉を無くし、各部の底上げと連携力の向上を意識して改革に取り組んでいます。新体制になって半年を経過しましたが、この取り組みの成果は実際に現れており、偏に現役員と事務局職員の努力の賜物であります。

具体的には、本会の決議機関である理事会においても、外部理事、監事の有識者から専門性の高い俯瞰的な提言を頂くことにより、個々の分野だけでは無く、全役職員が公益法人としてのルールや本会財務リテラシーを高めることが出来ました。その結果、運営上での審議事項や決議事項のレベルが非常に高くなってきています。

今後は更なる組織強化を図るとともに、本会が抱える課題でもあります会費収入以外の収益事業の研究と更なる本会運営の効率化を目指して参る所存です。また、医療DX化に伴う、柔道整復師の受領委任

制度の在り方も大きく変貌していくことが予想されるため、将来的な本会の存在意義についても真剣に考えていく一年にしていきたいと思えます。

結びに、会員の先生方におかれましては今後とも、本会に対してご助言、ご協力を切にお願い致しまして新年の挨拶といたします。



# 年 頭 挨 拶



## 年頭挨拶

副会長  
重 松 哲 夫

令和8年の新春を迎え会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年度の大きな行事として福岡県整骨医学会、柔整旗争奪少年柔道大会、各地区研修会、福岡、北九州マラソン大会が会員の皆様のご協力のお陰で無事に遂行出来た事を心より感謝申し上げます。

今年度は6月に療養費改定が行われます。検討専門委員会でも議論されていますが大幅なアップは期待できません。

本会としても会員の皆様にとって役に立てる様、経営、保険交通事故等に対するセミナーの開催計画を策定しています。

会員の皆様からも役に立つ施策や疑問点が有れば事務局のほうに連絡頂ければ幸いです。会員数は年々減っていますが、若い柔整師をいかに当会に入会して頂くかという大きなテーマもございます。

政治連盟では衆議院選挙において皆様には多大なご協力を頂き、自民党圧勝で高市政権が船出しました。この機会に厚生省に係る議員に日整から働きかけて欲しいものです。

協同組合では支部廃止により指定業者のプレゼンをする場所が無いという事で、今後は福岡県整骨医学会(電気ホール)でブースを設けて出展いたします。一人でも多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

今後とも会員の皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



## 年頭挨拶

顧問  
松 岡 保

新年明けましておめでとうございます。

皆様には2026年の新春を新たな想い、新たな決意でお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年5月の令和7年度第1回理事会において、再度顧問の委嘱を受けました。

日々変わる業界のために、微力ながら今までの経験を活かして塩川会長の補佐を務めると共に、求めに応じた指導や業務のアドバイザーとして尽力する所存です。

さて、高市内閣になり、何となく日本が明るくなってきましたが、一方、我々の経営は著しく逼迫し、賃金常用や物価高騰など非常に厳しい状況です。日整の交渉力に期待したいと思います。

最後に柔道整復師倫理綱領の第3項に「相互に尊重と協力に努め、分をわきまえ法を守り業務を遂行する」とあります。我々はあくまでも柔道整復師ということです。それ以上それ以下でもありません。

「立って半畳、寝て一畳」足るを知る大切さの教えです。頑張りましょう。



## 年頭挨拶

相談役  
村 田 栄 治

令和8年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。

(公社)福岡県柔道整復師会の副会長・保険部長

を退任し、相談役を拝命して早1年が経ちました。

さて、私事ではございますが、5年前に悪性リンパ腫と診断されました。自分がかんになるとは、夢にも思っていませんでした。

近くの産業医大血液内科を受診し、大変良い先生に巡り合い、最新の抗がん剤治療を受けて快方に向かいましたが、2年前には大腸がんを患い、これも産業医大第一外科にて手術をしていただき、無事に回復いたしました。

現在は、2か月に1回の血液検査と、年に2回のCTスキャン検査を受けています。

2度もがんを経験し、精神的にも肉体的にも大変な思いをいたしました。生と死について深く考え、「生きるとは何か」「友人の死とは何か」など、さまざまなことに思いを巡らせました。

残りの人生を悔いなく、何か目標を持って生きていきたいと考えております。

さて、話は変わりますが、最近の物価高は異常とも言える状況だと感じています。今年は療養費改定の年でもあり、大幅な引き上げがなされることを期待しております。

また、世界を見渡しますと、戦争が各地で続いており、ミサイルや弾薬により多くの尊い命が失われています。一日も早く戦争が終結することを、心よりお祈り申し上げます。

会員の皆様におかれましては、柔道整復師業務を通じて適切な施術を行っていただくとともに、より一層のご尽力と、不正のない請求をお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様のご健勝と、(公社)福岡県柔道整復師会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。



### 年頭挨拶

堀内恭彦 法律事務所  
顧問弁護士  
堀内 恭彦

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

公益社団法人福岡県柔道整復師会の皆様には、平素から大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

昨年は、日本経済において賃上げの継続や企業収益の改善が見られる一方で、物価上昇が国民生活や事業環境に影響を及ぼし、社会保障制度の持続可能性が改めて問われた一年でもありました。

かような情勢の中、先般の衆議院総選挙においては、高市早苗総裁のもと自民党が圧勝し、政治の安定性が改めて示されました。今後、社会保障制度の持続可能性の確保と、地域医療を支える制度の安定的な運用に向けた政策の推進が期待されるところであります。

福岡県においても高齢化は着実に進行しており、都市部の発展が続く一方で、地域によっては身近な医療・施術を支える専門職の役割がますます重要となっております。

地域住民が安心して生活を続けるためには、日常生活に密着した身体機能の維持・回復を支える存在が不可欠であり、その中心を担っておられるのが、まさに柔道整復師の皆様であります。地域に根ざし、住民一人ひとりに寄り添った施術を提供されている皆様のご尽力に深く敬意を表します。

一方で、社会保障制度に対する国民の関心が高まる中、療養費制度の適正な運用や施術の透明性の確保など、専門職としてのコンプライアンスの重要性も一層増しております。制度への信頼は、皆様の日々の誠実な業務の積み重ねによって支えられるものであり、その信頼こそが柔道整復師制度の持続的な発展の礎となるものと確信しております。

## 年頭挨拶

私も顧問弁護士として、会員の皆様が安心して施術に専念できる環境を法的側面から支え、問題の未然防止と適正な運営の確保に努めてまいります。皆様の専門職としての誇りと社会的信頼が、今後さらに高まるよう、引き続き尽力する所存であります。

本年が公益社団法人福岡県柔道整復師会のさらなる発展の年となり、皆様にとりまして健康で実り多き一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



### 年頭挨拶

EY新日本有限責任監査法人  
顧問公認会計士  
吉村 祐二

公益社団法人福岡県柔道整復師会会員の皆様におかれましては、本年もますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

昨年2025年は、国内外でさまざまな出来事があり、私たちの社会に大きな変化と希望をもたらした一年でした。

まず、昨年度の大きなイベントとして思い出されるのは、春に開幕した「大阪・関西万博」ではないでしょうか。「大阪・関西万博」は、世界中から注目を集める一大イベントとなりました。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、環境・医療・テクノロジーなど多様な分野の展示が行われ、未来への可能性を感じさせる場となりました。日本が世界に向けて持続可能な社会のあり方を発信する姿は、医療・福祉に携わる者にとっても大きな刺激となり、改めて「いのち」と向き合う仕事の尊さを再認識する機会となったのではないのでしょうか。

政治の面では、夏に行われた参議院選挙において、自民党が歴史的な敗北を喫し、10月には公明党が

連立与党から離脱し、自民党と日本維新の会が連立することとなり、長年続いた政権構造に大きな変化が生まれました。高市早苗氏が日本初の女性首相として内閣を発足し、多様性と改革を象徴する新体制の誕生は、国内外から大きな注目を集めました。政治とカネの問題への対応、物価高騰、少子高齢化などの課題に向き合う姿勢が問われる中、国民の信頼回復と未来への道筋を期待したいものです。

スポーツ界では、福岡ソフトバンクホークスが見事に日本シリーズを制し、地元福岡に大きな喜びをもたらしました。若手選手の台頭とベテランの活躍が融合したチーム力は、地域の誇りとして多くの人々に感動を与え、スポーツの力が人々の心をつなぐことを改めて実感させてくれました。

また、メジャーリーグでは大谷翔平選手が二刀流としてさらに進化を遂げ、ナ・リーグ優勝決定シリーズでは投打で活躍し、初のリーグチャンピオンシップシリーズMVPを獲得しました。チームの勝利を最優先に考える姿勢とワールドシリーズ連覇の達成は、スポーツの粋を超えて多くの人々に勇気と希望を与えてくれました。

このように、2025年は物価高が続く社会の構造が揺れ動く一方で、未来への希望や人の力の尊さを感じる出来事が多くありました。

会員の皆様におかれましては、柔道整復師としての誇りを持ち、公益社団法人の一員として、国民医療・保健・福祉の増進に継続して寄与されていることと存じます。地域に根差した医療の担い手として、患者様一人ひとりの生活に寄り添い、支え続けてこられた皆様のご尽力に、改めて敬意を表します。

末筆ではございますが、これまで会員の皆様が日々職責を果たす中で培われたご活躍分野における信頼をさらに構築され、そして発展していく年となるよう、会員の皆様のご健康とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 年頭挨拶



### 年頭挨拶

総務部長  
西宮 裕二

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えるにあたり、会員の皆様に心よりご挨拶申し上げます。

旧年中は、本会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年5月の役員改選にて重責である総務部長に就任し、会務に努めてまいりました。本年も昨年に引き続き、総務部長として会務全体の統括に努め、職責をしっかりと果たしていきたいと思っております。

昨今、社会は大きな転換期を迎えています。人口減少と高齢化が進み、地域医療や介護の在り方が問われる中で、柔道整復師の役割は重要性を増しています。

また、社会全体ではデジタル化や働き方改革が進み、医療・福祉の現場にも新しい技術や制度が次々と導入されています。

こうした変化は私たちに新たな挑戦をもたらす一方で、柔道整復師としての専門性を改めて示す好機でもあります。

そのような中、令和7年度は、施策方針として掲げました「会員メリットの強化策」の一環として交通事故セミナーを開催しました。

多くの皆様にご参加いただき、日々の臨床に役立つ情報を共有できたことは大きな成果でありました。

理事者が先頭に立ち、企画から運営まで力を尽くしたことで、会全体が一丸となって取り組めたことを嬉しく思っています。

また、新しい仲間を迎えるための活動にも力を注ぎ、理事者自らが地域に足を運び、本会の役割や柔道整復師の専門性を積極的に発信しました。

その結果、新入会員を迎えることができ、組織の未来に向けた確かな一歩となりました。

令和8年度は、これまでの成果をさらに広げ、本会会員の皆様が誇りを持って活動できる基盤を整えていきます。

柔道整復師の仕事は、単なる施術にとどまらず、地域の人々の暮らしを支え、社会全体の健康文化を築く営みです。時代が変わっても、人と人のつながりや信頼は決して失われる事はありません。むしろ不確実な時代だからこそ、私たちの存在が地域に安心をもたらすのだと確信しております。

最後に、本会の使命は、会員一人ひとりの活動を支え、地域の健康と福祉に貢献することです。

新しい年も、理事者が先頭に立ち、皆様と共に進めてまいりますので、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

令和8年度が、皆様にとって充実した一年となりますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



### 年頭挨拶

経理部長  
久保山 茂

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆さまにおかれましても、健やかに新春を迎えられたことと存じます。

平素は、経理部の業務運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は、支部の廃止等当会にとって変化の多い一年でしたが、皆さまのご協力により、無事乗り越えることが出来ました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

当会の運営は、会員の皆さまが納入して頂いて

## 年頭挨拶

おります会費により賄われています。その大切な会費を預かる経理部と致しましても、紙資料の削減や「楽楽明細」の導入等による、各会員への配布物等の配送料金の経費削減を心がけて参りましたが、昨今の保険行政の厳しさもあり、当会の現在の財務状況は悪化傾向にあり、楽観出来ない状況にあります。

経理部では本会が未来永劫繁栄する為にはどうしたら良いのか？様々な方法をあらゆる角度から検討しています。

そこで、今年は下記の3つを目標に掲げ、必ずやり遂げる所存でございます。

- ①福岡県柔道整復師会が所有する土地の有効活用構築。
- ②協同組合での物品販売等の収益活動の活性化。
- ③各会員の売上高をアップさせる「知って得するセミナー」開催。

を予定しています。ご期待ください。

また、私が当会の「災害救護ボランティア」担当理事も兼務していますので、この場を借りて災害救護についても触れさせていただきます。昨年も日本全国では様々な自然災害が発生しました。このような緊急事態が発生した時に、避難所に向き、被災者の怪我の治療や心身のケアを施すボランティアチームを昨年立ち上げ、現在志しある隊員を募集しています。

被災者は我々柔道整復師の力を必要としています。是非、貴方の力を貸してください。

隊員は先ず2月11日に日本赤十字社の「救急法基礎講習会」を受講致します。この講習会で救急法を基礎からしっかりと勉強し、いざという時に現場で使える技能を磨き上げ、来るべき災害に備えます。皆さまのご応募をお待ちしております。

今年も経理部は一步一步、地に足をつけて邁進する所存です。

会員の皆さまにおかれましては、本年も変わらぬ

ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

皆さまのご健勝と、当会のさらなる発展を祈念いたしまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。



## 年頭挨拶

保険部長  
白木 雅巳

新年あけましておめでとうございます。(公社)福岡県柔道整復師会保険部長として、会員の皆様に年頭のご挨拶を申し上げます。

本年は柔道整復施術療養費改定内容に注視しつつ、本会として、会員の皆様が安心して施術に専念できる環境づくりに尽力いたします。具体的には、療養費に関する最新情報の提供、適切な請求方法の指導、そして会員の皆様の声を行政に届けるための活動を強化してまいります。

また、保険請求の適正化は、業界全体の信頼性を高める上で不可欠です。今一度、療養費の支給基準を遵守し、適切な施術と請求を行うよう、会員の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

さらに、患者とのコミュニケーションを密にし、症状や施術内容について丁寧な説明を心がけることで、信頼関係を構築し、地域社会における柔道整復師の地位向上を目指しましょう。

最後に、本年度も皆様と共に研鑽を重ね、柔道整復師としての誇りを持って業務に取り組んで行く所存です。どうぞよろしくお願い致します。

皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

## 年頭挨拶



### 年頭挨拶

学術部長  
敷田和彦

新年あけましておめでとうございます。平素より学術部の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。私は今年度より学術部長を務めさせていただくこととなりました。新たな体制のもと、本年も会員の皆さまの学術活動をより一層充実させ、実践に役立つ情報の提供と交流の促進に努めてまいります。

本年の活動の第一歩として、1月17日(土)18時より第39回北九州学会を九州医療スポーツ専門学校にて開催いたします。今回の学会は初めての専門学校とのコラボレーションであり、学生の発表の機会も取り入れました。特別講演や会員発表においても会員の皆さまにとって有益な情報を提供し、日々の施術に役立つ内容を充実させてまいります。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

また、3月8日(日)13時には第34回福岡県整骨医学会・生涯学習研修会を、例年通り電気ビルみらいホールにて開催いたします。こちらも、最新の研究成果や臨床のヒントを得られる貴重な機会です。会員の皆さまの積極的な参加とご意見をお寄せいただき、学術交流を深めていきたいと考えております。当日は、受付ホールにて福岡県整骨協同組合の取扱業者による展示会も予定されております。こちらも是非ご利用いただければと思います。

これらの学会は、皆さまの日常の施術に直結する情報を得る絶好の場です。ご多忙の折とは存じますが、ぜひともご参加いただき、積極的なご意見やご質問をお寄せください。今後とも、皆さまのご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ます。

本年度も、皆さまのご期待に応えられるよう、学術活動の充実に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



### 年頭挨拶

広報部長  
柴田修一

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、日頃の施術、救護活動、本会の公益事業など地域貢献・事業活動にご協力いただきありがとうございます。

昨年より広報部長に就任して早一年になろうとしています。まず広報とはどういったものかという所からスタートしました、今まで支部広報の経験はありましたが、また一から見直しをやってみようと、ジャンプアップ福整の休刊、HP、福整広報の内容検討、また塩川会長が目指す福整の方向性を会員の皆様にお伝えする方法を再構築している最中です。

昨年の保険研修会においては、各部長より様々な提案がなされました、広報としましては、各部長の活動をより多くの会員、外部の皆様にご伝えていこうとHPの更新を頻繁に行っておりますので是非HPを覗いてみてください。

医療業界も去年より一段と厳しい状況が続くことが予想されます(国民の医療を守るための国民運動11月20日HP資料より)、柔道整復師ももちろん例外ではございません、この厳しい時代を生き抜いて行く為にも福整会員の力の結集し、国民の皆様に必要な医療を届けられるよう広報としても努力していく所存です。

現代において情報の迅速性、多方面からの情報

## 年頭挨拶

収集、AIを使った情報分析、利害関係者への情報発信方法がこらからの広報活動だと考えてます。

本年も会員の皆様のご指導とご支援を頂き、全力でサポートをしていきますので何卒よろしくお願い申し上げます。



### 年頭挨拶

外部理事(司法書士)  
原 口 智 吉

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年5月に開催された定時総会以降、貴法人の外部理事を務めさせて頂きましたが、会員の皆さまにはご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、近年の人口減少や技術革新に伴う社会情勢や環境の変化は目まぐるしいものがあります。また、法令順守やコンプライアンスの徹底についてもその必要性が高まるばかりです(私が外部理事を拝命したのも、法改正に伴う公益社団法人福岡県柔道整復師会の組織的な対応に基づくものと承知しております。)

これらの変化のスピードは年を重ねるごとに加速し、変化に対応すべき準備期間も短くなるばかりであると感じておりますが、会員の皆さま方が現場で行う業務の在り方にも大きな影響を与えているものと推察いたします。

今後もこのような流れが続いていき、さらにそのスピードが加速していくことが想定されるため、時に何とも息苦しく感じることもありますが、従来から引き継がれてきた文化や伝統を継承しつつも、まずは公益社団法人として組織的にこれ

らの変化に対応し、会員の皆さまにおかれましても柔軟に対応していくことができるよう私自身も一助になればと考えております。

大変微力ではありますが、執行部の一員として少しでもお役に立てるよう尽力いたしますので、本年も引き続き会員の皆様のご理解とご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 年頭挨拶

監事  
上 田 康 妃

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃より本会の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

二十一世紀の幕開けからすでに四半世紀が過ぎ、社会はめまぐるしい変化を遂げてまいりました。二十世紀の人々が夢見た「未来」である二十一世紀は、テクノロジーの進化により大きく発展した一方、失われつつある価値や仕組みもあり、進化と変容が交錯する時代となっております。医療・健康分野においてもAIやデジタル技術が急速に取り入れられています。その一方で、人に寄り添い、手を介して身体と向き合う柔道整復の本質的な価値が、今ほど重視されている時代はありません。

本年、2026年の干支は「丙午(ひのえ・うま)」です。十干の「丙」は陽の“火”を象徴し、勢いよく萌え出た草木が外へ向かって伸びていく様子に例えられます。また十二支の「午」は馬を表し、力強さと前進、活発な動きを象徴します。丙午は、陽の気が高まり行動力が増し、物事が大きく飛躍・発展する年とも言われます。社会情勢が変化する中であって

## 年頭挨拶

も、前向きに挑戦し、新しい価値を生み出していくための力に満ちた一年となることを期待しております。

監事として私は、公益法人としての健全な運営を支えるべく、公正・誠実な姿勢で業務監査に努め、本会の透明性向上と信頼の確保に引き続き取り組んでまいります。そして何より、会員の皆様が安心して専門性を発揮し、地域の健康を支える役割をさらに強めていけるよう、責任をもって職務を果たす所存です。

丙午の「火」は希望を灯し、「午」の馬は未来に向かって力強く駆ける象徴でもあります。本年が、柔道整復業界にとって新たな飛躍の年となり、会員の皆様お一人おひとりの歩みが、より輝きを増す一年となりますよう心より祈念申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げ、新年のご挨拶といたします。



### 年頭挨拶

外部監事(公認会計士)  
峯 昌広

公益社団法人福岡県柔道整復師会の会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、我が国の景気は緩やかに回復していると一般には受け止められておりますが、一方で、昨年末には日本銀行が政策金利の引き上げを決定し、今後の金利負担の影響が懸念されております。加えて、継続的な物価高の傾向や、人口減少・少子高齢化に伴う人手不足など、会員の皆様の今後の事業運営への影響が危惧される状況にあります。

このような中、私は昨年5月に貴法人の外部監事として初めて選任され、その後、当年度の理事会

に複数回出席させていただきました。私の主な役割は、公認会計士としての専門的な知識および経験を活かし、財務面を中心として貴法人の意思決定を支援するとともに、ガバナンスの一環として、外部の視点から法人運営を監視し、不正や不備等を未然に防止することにあります。

貴法人の理事会においては、決議事項も多く、特に重要な案件については、決議に至るまでに十分な検討が重ねられており、私のような外部役員に対しても、必ず事前に情報共有がなされたうえで審議・決議が行われております。そのため、曖昧なまま意思決定がなされることはなく、審議の過程においても外部役員の意見を求めています。今後も継続して監視を行ってまいります。理事会においては、適切かつ慎重な意思決定がなされているものと認識しており、会員の皆様におかれましてはご安心いただければと存じます。

監事に就任してから数か月が経過いたしました。まだまだ至らぬ点もございますが、貴法人および会員の皆様のお力になれるよう、今後とも誠心誠意努めてまいる所存です。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

最後に、本年一年が、会員の皆様のご健康とご活躍に満ちた年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 令和7年度 定時総会

令和7年5月25日(日) 於 福岡県整骨会館



議長  
相良昌策

令和7年5月25日(日)14時より福岡県整骨会館に於いて、令和7年度定時総会が開催されました。去年に引き続き議長に選出され、引き受けさせて頂きました。

今年の総会は、出席者35名、委任状提出者520名という状況でしたが、皆様のご協力により無事滞りなく終えること出来ました。それもひとえに会員の皆様や事務局の皆様の協力のお陰であり、貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

令和7年度からは更なる事業効率化と経費削減を目的として支部を廃止し、福岡県が定める行政区域(北九州、福岡、筑後、筑豊)の4地区に再編して運営していくことになりました。

支部を廃止しても、各公益事業や救護ボランティア活動(福岡マラソン、北九州マラソン、行橋シーサイドハーフマラソン、久留米つつじマーチ)は引き続き実施していきます。よって、支部活動が

なくなっても各種公益活動に積極的に参加頂く事で、今まで通りの会員同士の繋がりを感じて頂ければと思います。

また、今年度は役員改選年度であったため、理事会で選出された外部を含む役員候補者10名について、総会審議の結果、承認を経て選任されました。昨今は本会、各会員共に大変厳しい経営状況が続いています。新役員の先生方におかれましては、今後の舵取り役として与えられた職責をしっかりと果たして頂けるものと期待する次第です。

今後とも会員の皆様には更なるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが本会の益々のご発展と皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。



総会風景

令和七年度

定時総会式次第

一、開会の辞

一、会長挨拶

一、議事

●議長、副議長選出について

●議事録署名人選出について

●報告事項

一、令和六年度  
事業報告について

●決議事項

一、令和六年度

収支決算報告について

二、令和六年度

監査報告について

三、定款の

一部改定について

四、役員改選について

一、新入会員紹介

一、その他

一、閉会の辞

# 理事会報告

令和7年2月～令和8年2月



総務部長  
西宮 裕二

## 令和6年度第6回理事会 令和7年2月17日(月) 17:00～

### 議題

1. 新入会員入会について
2. 令和7年度定時総会について
3. 職員永年勤続表彰について
4. 整骨会館使用願いについて
5. 厚生労働大臣表彰受賞者への記念品について
6. 全日本柔道連盟賛助会員継続について
7. 柔道整復施術療養費審査委員の推薦について
8. 令和6年度保険研修会について
9. 令和6年度新入会員保険研修会について
10. 令和6年度第33回生涯学習研修会・福岡県整骨医学会について
11. 第43回福岡県少年柔道大会について
12. WORLDFOOTBALLFESTIVAL後援及び救護派遣依頼について
13. 福整会ゴルフコンペについて
14. 令和6年11月、12月度収支決算報告について
15. 令和7年度各部事業計画及び予算案について
16. 支部の在り方について
17. 外部理事、監事候補について
18. 役員定数の見直しについて
19. その他  
(報告事項)

1. 職務執行状況報告について
2. 各部会報告について
3. 各審査会報告について
4. 日整理事会報告について
5. 日整全国保険部長会議報告について
6. 日整Re:bone会議報告について
7. 九州ブロック会長保険部長会議報告について
8. 業界特別講義報告について
9. 北九州マラソン2025救護活動報告について
10. その他

## 令和6年度第7回理事会 令和7年3月9日(日) 18:00～

### 議題

1. 役員定数の見直しについて
2. その他

## 令和6年度第8回理事会 令和7年3月26日(水) 18:00～

### 議題

1. 新入会員入会について
2. 令和7年度事務局職員の昇給について
3. 公益社団法人福岡県柔道整復師会定款一部改定について
4. 「NHKラジオ深夜便」の購読案内について
5. 令和7年度超音波観察装置研修会スケジュールについて
6. 令和7年度日整匠の技指導者候補の推薦について
7. 令和7年度日整救護及びトレーナー活動申請について
8. 令和7年度柔道大会等救護派遣スケジュールについて
9. 令和7年1、2月度収支決算報告・承認について
10. 令和7年度会費免除申請者について
11. 令和7年度年会費並びに定率会費の徴収について
12. 令和7年度事業計画案について
13. 令和7年度役員定数及び役員改選について
14. 令和7年度役員報酬について
15. 支部の在り方について
16. 令和7年度資金調達及び設備投資の見込みについて
17. 令和7年度予算案について
18. その他  
(報告事項)

1. 職務執行状況報告について
2. 各部会報告について
3. 各審査会報告について
4. 日整理事会報告について
5. 日整全国会長会報告について
6. 日整災害担当国会議報告について
7. 日整介護保険担当国会議報告について
8. 令和6年度保険研修会報告について
9. 令和6年度新入会員保険研修会報告について
10. 第33回福岡県整骨医学会・生涯学習研修会報告について
11. その他

## 令和7年度第1回理事会 令和7年4月25日(金) 18:00～

### 議題

1. 新入会員入会について
2. 令和7年度表彰者の推薦について
3. (公社)福岡県柔道整復師会慶弔見舞規程の一部改定について
4. 第43回福岡県少年柔道大会について
5. 第24回健康21世紀福岡県大会におけるブース出展について
6. 令和7年3月度収支決算報告承認について
7. 令和6年度事業報告について
8. 令和6年度収支決算報告について
9. 令和6年度下期監査報告について
10. 令和7年度役員改選について
11. 令和7年度定時総会に付議する事項について
12. その他  
(報告事項)

## 理事会報告

1. 職務執行状況報告について
2. 各部会報告について
3. 各審査会報告について
4. 日整理事会報告について
5. 九州ブロック会理事会報告について
6. 日整全国学術部長会議報告について
7. 九州ブロック会応募論文審査結果報告について
8. 第2回WORLDFOOTBALLFESTIVAL救護活動報告について
9. 2025年全日本選抜柔道体重別選手権大会救護活動報告について
10. 久留米つつじマーチ2025救護活動報告について
11. その他

### 令和7年度第2回理事会 令和7年5月25日(日) 15:00～

#### 議題

1. 会長及び業務執行理事の選定について
2. 役職分担について
3. 顧問・相談役について
4. 今後の会議開催計画について
5. 役員報酬について
6. 外部役員の責任限定契約について
7. 会館の鍵及びカードキー保管について
8. 役員退職記念品について
9. その他  
(報告事項)
1. その他

### 令和7年度第3回理事会 令和7年8月19日(火) 17:00～

#### 議題

1. 新入会員入会について
2. 業務執行理事の選任について
3. 理事職務権限規程の一部改定、部長連絡会議規程新設について
4. (公社)鹿児島県柔道整復師会内清治前会長「旭日雙光章」受章祝賀会について
5. 新入会員獲得活動について
6. 第43回福岡県少年柔道大会について
7. 役員ノートPCのリース契約について
8. 救護依頼における日当申し合わせについて
9. 日整九州学術大会沖縄大会への支弁について
10. 整骨会館防犯カメラの設置について
11. 災害発生時における緊急連絡方法について
12. 令和7年4,5,6月度収支決算報告について
13. その他  
(報告事項)
1. 職務執行状況報告について
2. 各審査会報告について
3. その他

### 令和7年度第4回理事会 令和7年10月29日(水) 17:00～

#### 議題

1. 新入会員入会について

2. 令和7年7,8,9月度収支決算報告について
3. 令和7年度上期監査報告について
4. 福岡マラソン2025救護について
5. 日整全国大会の支弁について
6. 日本柔道整復接骨医学会学術大会の支弁について
7. 整骨会館防犯カメラの設置について
8. 令和7年度第34回福岡県整骨医学会について
9. 福岡県整骨会館建て替え検討について
10. 本会ホームページのリニューアルについて
11. その他  
(報告事項)

1. 職務執行状況報告について
2. 各審査会報告について
3. 入会勧誘状況について
4. その他

### 令和8年度第5回理事会 令和8年1月19日(月) 17:00～

1. 新入会員入会について
2. 公益社団法人福岡県柔道整復師会役員選考規程について
3. 厚生労働大臣表彰受賞者への記念品について
4. 会館隣接土地の購入検討について
5. 福岡県整骨会館建て替え検討について
6. 帳票サービス(楽楽明細)の契約について
7. 事務局シュレッダーの入替について
8. 福岡県柔道整復療養費審査委員の推薦について
9. 令和7年10月、11月、月度収支決算報告について
10. 令和8年度各部事業計画、予算案について
11. 職員退職金規程の見直しについて
12. その他  
(報告事項)

1. 職務執行状況報告について
2. 各部会報告について
3. 各審査会報告について
4. 入会勧誘状況について
5. その他

# 会務執行状況報告

令和7年1月～12月



総務部長  
西宮 裕二

## 1月

- 5日(日) 学術会務(福岡県整骨医学会応募論文審査)
- 6日(月) 仕事始め(総務打ち合わせ、国保連合会来館対応)  
学術会務(福岡県整骨医学会応募論文審査)
- 7日(火) 総務会務(総務打ち合わせ)
- 10日(水) 経理会務(決済)  
三役会(新年度打ち合わせ)
- 11日(土) 第47回全国高等学校柔道選手権大会  
中部ブロック予選大会救護  
第47回全国高等学校柔道選手権大会  
筑豊ブロック予選大会救護  
第47回全国高等学校柔道選手権大会  
南部ブロック予選大会救護
- 12日(日) 第47回全国高等学校柔道選手権大会  
中部ブロック予選大会救護  
第47回全国高等学校柔道選手権大会  
筑豊ブロック予選大会救護  
第47回全国高等学校柔道選手権大会  
南部ブロック予選大会救護
- 14日(火) 三役会(学術部との協議)  
学術部会  
総務会務(新年挨拶廻り)
- 15日(水) 総務会務(福岡県医師会新春懇談会)
- 16日(木) 公的審査会・国老審査会・労災審査会
- 17日(金) Webバンキング送金決済  
福岡医健・スポーツ専門学校卒業発表会
- 21日(火) 日整全国保険部長会議(Web会議)
- 24日(金) 総務・経理部会(定例)
- 25日(土) 第47回福岡県高等学校柔道選手権大会救護
- 26日(日) 第47回福岡県高等学校柔道選手権大会救護  
ゆくはしシーサイドハーフマラソン2025救護

## 2月

- 1日(土) 第67回九州柔道選手権大会  
第35回九州女子柔道選手権大会福岡県予選会救護
- 4日(火) 総務会務(総務打ち合わせ)
- 6日(木) 故竹内俊洋会員葬儀
- 7日(金) 公益法人制度ブロック説明会  
第71回福岡県公衆衛生大会  
総務会務(九州医療スポーツ専門学校来館対応)  
広報会務(印刷会社打ち合わせ)

- 9日(日) 日整匠の技指導者養成講座
- 10日(月) 経理会務(決済)  
三役会(理事会打ち合わせ)
- 12日(水) 九州医療スポーツ専門学校業界特別講義
- 13日(木) 総務会務(日整RebornWeb会議)
- 14日(金) 保険会務(違反広告対応)
- 16日(日) 北九州マラソン2025救護
- 17日(月) 公的審査会・国老審査会・労災審査会  
令和6年度第6回理事会  
保険会務(新入会員指導)
- 18日(火) 日整災害担当者会議(Web会議)  
学術部会
- 19日(水) Webバンキング送金決済  
総務・経理部会(定例)
- 20日(木) 日整全国介護保険担当者会議(Web会議)  
総務会務(登記手続き)
- 22日(土) 福岡県ワンヘルス国際フォーラム
- 25日(火) 令和6年度公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰式
- 27日(木) 総務会務(次亜塩素酸水引取)

## 3月

- 2日(日) 九州柔道選手権大会九州女子選手権大会救護
- 6日(木) 総務会務
- 7日(金) 令和6年度保険研修会動画撮影
- 8日(土) 令和6年度新入会員保険研修会  
第33回福岡県整骨医学会リハーサル
- 9日(日) 第33回福岡県整骨医学会・第33回生涯学習研修会  
令和6年度第7回理事会  
第42回福岡県少年柔道大会救護  
柔道救護担当講習会
- 10日(月) 経理会務(決済)  
福整広報最終編集会議
- 14日(金) 保険会務(違反広告対応)
- 18日(火) Webバンキング送金決済  
公的審査会・国老審査会・労災審査会  
三役会(理事会打ち合わせ)  
令和7年度予算編成会議  
経理会務(貸金庫解錠、減価償却積立)
- 23日(日) 日整全国会長会議
- 25日(火) 総務経理部会  
WORLDFOOTBALLFESTIVAL救護事前ミーティング
- 26日(水) 令和6年度第8回理事会  
令和6年度第4回支部長会議  
令和6年度新入会員保険研修会補講

## 4月

- 1日(火) 総務会務(新年度打ち合わせ)
- 2日(水) 三役会(新年度打ち合わせ)  
WORLDFOOTBALLFESTIVAL救護
- 3日(木) WORLDFOOTBALLFESTIVAL救護
- 4日(金) WORLDFOOTBALLFESTIVAL救護

# 会務執行状況報告

- 5日(土) 2025年全日本選抜体重別選手権大会救護  
福岡柔道フォーラム
- 6日(日) 2025年全日本選抜体重別選手権大会救護
- 10日(木) 経理会務(決済)
- 16日(水) 公的審査会・国老審査会・労災審査会  
福岡県少年柔道大会運営委員会
- 17日(木) Webバンキング送金決済  
総務・経理部会(定例)  
三役会(理事会打ち合わせ)
- 19日(土) 久留米つつじマーチ救護
- 20日(日) 久留米つつじマーチ救護
- 25日(金) 令和6年度下期監査会  
経理会務(貸金庫解錠)  
令和7年度第1回理事会  
総務会務(役員改選予備選挙)  
新入会員保険指導

## 5月

- 10日(土) 令和7年度高体連柔道選手権大会  
中部ブロック予選会救護  
令和7年度高体連柔道選手権大会  
筑豊ブロック予選会救護  
令和7年度高体連柔道選手権大会  
南部ブロック予選会救護
- 11日(日) 令和7年度高体連柔道選手権大会  
中部ブロック予選会救護  
令和7年度高体連柔道選手権大会  
筑豊ブロック予選会救護  
令和7年度高体連柔道選手権大会  
南部ブロック予選会救護
- 12日(月) 総務会務(次亜塩素酸水引取)  
経理会務(決済)
- 16日(金) 福岡医健・スポーツ専門学校関係者評価委員会
- 19日(月) Webバンキング送金決済  
公的審査会・国老審査会・労災審査会
- 23日(金) 福岡医健・スポーツ専門学校教育課程編成委員会
- 24日(土) 令和7年度定時総会リハーサル  
令和7年度高体連柔道選手権大会救護
- 25日(日) 令和7年度定時総会  
令和7年度第2回理事会  
令和6年度高体連柔道選手権大会救護
- 26日(月) 総務会務(新役員人事)

## 6月

- 5日(木) 総務会務(日整役員選挙、役員引き継ぎ式打ち合わせ)
- 7日(土) 九州ジュニア柔道大会福岡県予選大会
- 10日(火) 経理会務(決済)  
新旧役員、審査員引き継ぎ式
- 17日(火) 公的審査会・国老審査会・労災審査会  
総務会務(新役員挨拶廻り)  
総務会務(日整総会、日整役員改選事前打ち合わせ)  
学術部会
- 19日(木) Webバンキング送金決済  
部長連絡会議

- 20日(金) 保険会務(各地区保険研修会準備)
- 21日(土) 福岡医療専門学校教育課程編成委員会
- 26日(木) 九州医療スポーツ専門学校教育課程編成委員会
- 28日(土) 日本赤十字社福岡県支部奉仕団委員長会議
- 30日(月) 保険会務(個別指導)

## 7月

- 6日(日) 九州ジュニア柔道体重別選手権大会救護
- 8日(火) 令和7年度第2回学術部会
- 10日(木) 経理会務(決済)  
総務会務(西日本新聞社金鷲旗救護依頼対応)  
保険会務(個別指導)
- 11日(金) 保険会務(公的審査会面接確認)
- 12日(土) 福岡市中学校総合体育大会救護  
筑前地区中学校柔道大会救護  
筑後地区中学校柔道大会救護
- 13日(日) 福岡市中学校総合体育大会救護  
筑後地区中学校柔道大会救護
- 16日(水) 公的審査会・国老審査会・労災審査会  
保険会務(事前協議)
- 17日(木) Webバンキング送金決済  
部長連絡会議  
総務会務(各地区研修会打ち合わせ)  
保険会務(個別指導)
- 22日(火) 金鷲旗高校柔道大会救護
- 23日(水) 金鷲旗高校柔道大会救護
- 24日(木) 金鷲旗高校柔道大会救護  
経理会務(福岡銀行来館対応)
- 25日(金) 総務会務(鹿児島県柔道整復師会来館対応)
- 26日(土) 令和7年度第70回福岡県中学校柔道大会救護
- 27日(日) 令和7年度第70回福岡県中学校柔道大会救護

## 8月

- 3日(日) 第25回行橋市長旗争奪少年柔道大会
- 12日(火) 経理会務(決済)  
三役会(理事会打ち合わせ)  
令和7年度各地区研修会準備会  
第43回福岡県少年柔道大会組合せ抽選会
- 17日(日) 日整匠の技指導者養成講座
- 18日(月) Webバンキング送金決済  
公的審査会・国老審査会・労災審査会  
令和7年度第3回理事会  
令和7年度各地区研修会リハーサル  
保険会務(ソニー損保来館対応)  
新入会員保険指導
- 19日(火) 令和7年度全国中学校体育大会  
第56回中学校柔道大会救護
- 20日(水) 令和7年度全国中学校体育大会  
第56回中学校柔道大会救護
- 21日(木) 令和7年度全国中学校体育大会  
第56回中学校柔道大会救護
- 22日(金) 令和7年度全国中学校体育大会  
第56回中学校柔道大会救護
- 23日(土) 令和7年度筑後地区研修会

# 会務執行状況報告

24日(日) 第107回九州柔道大会救護  
25日(月) 部長連絡会議  
28日(木) 公衆衛生推進連携協力会議  
令和7年度第1回5ブロック地域包括ケアシステム  
推進協議会  
30日(土) 令和7年度北九州地区研修会

## 9月

4日(木) 総務会務(久Dr.への挨拶及び打ち合わせ)  
6日(土) 第43回福岡県少年柔道大会準備会  
7日(日) 第43回福岡県少年柔道大会  
9日(火) 令和7年度第3回学術部会  
10日(水) 経理会務(決済)  
14日(日) 第24回健康21世紀福岡県大会  
2025九州ベテランズ柔道大会救護  
15日(月) 総務会務(西本健二会員実父通夜参列)  
17日(水) 公的審査会・国老審査会・労災審査会  
広報会務(ホームページリニューアル打ち合わせ)  
18日(木) Webバンキング送金決済  
部長連絡会議  
災害担当者会議  
20日(土) 令和7年度筑豊地区研修会  
25日(木) 総務会務(次亜塩素酸水引き取り)  
26日(金) 経理会務(臨時決済)  
27日(土) 全国柔道整備学校協会教員研修会

## 10月

4日(木) 令和7年度福岡地区研修会  
5日(日) (公社)鹿児島県柔道整備師会内清治前会長叙勲受章  
祝賀会  
10日(金) 経理会務(決済)  
地域包括ケアシステム推進協議会  
11日(土) 高体連柔道新人大会福岡ブロック予選会救護  
高体連柔道新人大会筑豊ブロック予選会救護  
高体連柔道新人大会南部ブロック予選会救護  
12日(日) 高体連柔道新人大会福岡ブロック予選会救護  
高体連柔道新人大会筑豊ブロック予選会救護  
高体連柔道新人大会南部ブロック予選会救護  
16日(木) Webバンキング送金決済  
広報会務(HP打ち合わせ)  
17日(金) 公的審査会・国老審査会・労災審査会  
18日(土) 第52回日整九州学術大会沖縄大会  
19日(日) 全九州実業団対抗柔道大会救護  
21日(火) 総務会務(医療機器展示会打ち合わせ)  
24日(金) 部長連絡会議  
25日(土) 福岡県高等学校柔道新人大会  
26日(日) 福岡県高等学校柔道新人大会  
29日(水) 令和7年度上期監査会  
令和7年度第4回理事会  
新入会員保険指導

## 11月

2日(土) 令和6年度筑後地区中学校新人体育大会救護  
3日(月) 総務会務(東京都瀧澤会長来館対応)

4日(火) 総務会務(東京都瀧澤会長来館対応)  
9日(日) 福岡マラソン2025救護活動  
10日(月) 経理会務(決済)  
総務会務(水害見舞金持参)  
11日(火) 令和7年度第4回学術部会  
13日(木) 総務会務(暴力追放福岡県民大会)  
15日(土) 日整生涯学習研修会  
福岡医療専門学校教育課程編成委員会  
令和7年度福岡市中学校新人体育大会救護  
令和7年度筑後地区中学校新人体育大会救護  
16日(日) 日整全国少年柔道大会、形競技会、全国柔道大会  
18日(月) 公的審査会・国老審査会・労災審査会  
総務会務(故藤瀬理事長弔問)  
19日(火) Webバンキング送金決済  
部長連絡会議  
20日(木) 国民医療を守るための総決起大会  
26日(水) 福岡県日赤紺綬会創立65周年記念総会  
30日(日) 令和7年度第1回超音波観察装置研修会  
令和7年度第1回Nextスキルアップセミナー  
日整匠の技指導者講習会  
第41回福岡県女子柔道選手権大会救護

## 12月

3日(水) 総務会務(日本スポーツ振興センター運営協議会)  
保険会務(保険研修会講師派遣依頼)  
4日(木) 総務会務(県庁医療指導課、医療保険課訪問)  
5日(金) 令和7年度第3回5ブロック地域包括ケアシステム  
推進協議会  
6日(土) 第34回日本柔道整備接骨医学会学術大会  
7日(日) 第34回日本柔道整備接骨医学会学術大会  
11日(木) 三役会(総務前打ち合わせ)  
総務会務(業界特別講義リハーサル)  
経理会務(決済)  
14日(日) 延塚奉行顕彰武道大会救護  
15日(月) 公的審査会・国老審査会  
総務会務(福岡医療専門学校業界特別講義)  
保険会務(保険研修会講師派遣依頼)  
16日(火) 総務会務(日赤災害対策本部立ち上げ会議)  
学術会務(北九州学会打ち合わせ)  
18日(木) Webバンキング送金決済  
19日(金) 部長連絡会議  
令和7年度合同研修会  
22日(月) 総務会務(令和7年度ふくおか健康づくり県民会議総会)  
26日(金) 総務会務(仕事納め式)  
2025サニックス旗福岡国際中学生柔道大会救護  
31日(水) 総務会務(故篠原幸治会員葬儀参列)

# 保険部だより



保険部長  
白木 雅巳

## マイナンバーカードオンライン 資格確認について

### 1. 従来の健康保険証の有効期限(令和7年12月1日) 以降の取り扱いについて

令和7年12月1日をもって従来の健康保険証の有効期限が切れるため、12月以降の資格確認については、原則マイナンバーカード保険証或いは資格確認書で行うようにしてください。

なお、マイナンバーカードの健康保険証の利用登録を行っていない患者については、マイナポータル、セブン銀行ATM、医療機関設置の顔認証付きカードリーダーでの登録を促してください。

### 2. マイナンバーカード利用者証明用電子証明書の有効期限切れについて

マイナンバーカードの利用者証明用電子証明書について、有効期限が切れても有効期限の満了日が属する月の月末から3か月後の月末までは、オンライン資格確認により有効な資格情報のみ医療機関等に提供されるため、健康保険証として利用できます。

但し、3か月以上経過すると利用できなくなりますので、利用不可の患者が来院した際は、早めに更新手続きを行うようご案内してください。

### 3. マイナンバーカードオンライン資格確認における「●」表示について

マイナンバーカードオンライン資格確認を実施した際、加入者情報の患者氏名や住所に旧字や外字(例:「高」、「崎」、「吉」)が含まれる場合、「●」で表示されるケースがありますが、厚労省より、令和8年度中を目処に今後「●」表示の解消を目指す、当分の間、表示された内容のまま(●表示のまま)で

も保険請求が可能と通達されています。

なお、これまで同様、患者への聞き取りや、マイナンバーカード券面に記載されている情報に基づいて「●」を漢字に修正のうえ請求を行っても差し支えはありません。

### 4. マイナンバーカードオンライン資格確認API連携について

本連携機能を使用すると、マイナ資格確認アプリで確認した保険証情報(住所を含めた被保険者保険証情報)が確認できるようになります。また、読み取ったデータは、自動でレセコン入力が可能になります。

連携機能を使用するには、

- ① 施術所等向け総合ポータルサイトでAPI連携用アカウントの申請
- ② レセコンソフトのアップデート
- ③ 2段階認証コード生成アプリ(Authenticator)のPC若しくはスマートフォンへのインストールが必要となります。

### 5. オンライン資格確認未導入施術所について

オンライン資格確認を導入されていない施術所について、令和8年12月末に受領委任取扱い中止措置がなされる予定です。従って、早急に導入手続きを行ってください。

ご不明な点がございましたら事務局までご相談ください。

## レセプト提出〆切日の 厳守について(お願い)

標記の件につきまして、以前に比べてレセプト提出が〆切日までに到着せずに遅れる会員が非常に増えています。

以前より〆切厳守をお願いしていますが、提出が遅れる会員が増えると請求業務に支障をきたし、他の会員に迷惑をかけることに繋がります。

提出期限は厳守頂くとともに、不可避的な事情により到着が遅れる場合は必ず県事務局までご連絡をお願いいたします。

今後、事前連絡が無く提出が遅れた会員につきましては、保険部長より提出確認の連絡をいたします。また、提出遅れが続く場合は、翌月受付扱いといたしますので、予めご了承ください。

なお、療養費データの送信業務も必ず〆切日までに実施してください。

※レターパック(プラスorライト)で提出する際は、次の点をご注意願います。

- ①レセプトの封をする際は、レターパックのシール粘着部分がレセプト用紙にくっつかないようにご注意ください。(輸送・開封時にレセプト破損の原因になります)
- ②「品名記入欄」には、「書類(会員番号〇〇〇〇)」を必ず記入してください。
- ③「ご依頼主様保管用シール」は、必ず剥がして保管しておいてください。
- ④発送方法は、毎月1日～〆切日前日までに、
  - ・最寄りの郵便局へ持ち込む。
  - ・配達にきた郵便局員に預ける。
  - ・〆切前日(土日除く)の最終集荷時間内までポストに投函する。

なお、〆切日前日に出す場合は、郵便局への持ち込みをお願いいたします。

また、夜間及び日曜日は郵便ポストの集荷が行われませんのでご注意ください。

## 柔整療養費の償還払い変更事例について

保険者(特に健保組合)において、患者ごとに償還払への変更をされる事例が増えています。変更理由としては、「保険者等が、患者照会を適切な次期に患者に分かりやすい照会内容で繰り返し行っても回答しない患者」に該当しているケースが殆どです。

患者宛に届いた患者照会について、未回答のまま督促が届いても応じない場合、償還払い変更通知となるケースが発生しています。

なお、償還払い変更は「償還払い注意喚起通知」送付⇒状況が改善されない⇒「償還払い変更通知」送付という流れで実施されるため、患者に届いた照会状については速やかに回答して頂くよう、周知徹底をお願いいたします。

## 交通事故患者の施術・請求部位について

交通事故患者で施術者と損保会社で請求部位数のトラブルが増えています。

患者の症状に基づき、医師診断書に無い傷病名を追加する場合以下の点を留意してください。

- ①整骨院の初検日が負傷日(事故日/診断日)から2週間以上空いていない。
- ②追加部位は、病院で検査や治療を受けていないが、事故当初から患者からの主訴があった。
- ③柔道整復師からの症状説明が近接部位による関連痛、放散痛ではない。
- ④追加部位の受傷機転や事故状況、損害状況などを加味する。

以上を踏まえたうえで、請求部位については必ず損保会社担当者と事前協議を行い、部位協定を結ぶようにしてください。

また、福岡県において、交通事故患者の通院日数を水増し、保険金を詐取した容疑で整骨院グループ会社代表取締役及び従業員の柔道整復師が逮捕されています。

この影響もあり損保会社からの依頼に基づく調査会社や弁護士による整骨院訪問調査が増えている一方、適正な請求をしているにも拘わらず、調査員が不正をしていると決めつけた発言や高圧的な態度で調査が行われたケースもあります。

日頃より施術録及び日計表等の整備ができていないと不正の疑義をかけられてしまいます。

このような事例を防ぐためにも施術録の管理は勿論のこと、保険会社担当者との確認や連絡などを疎かにしないよう務めてください。

## 後期高齢者2割負担の配慮措置終了について

後期高齢者で一定以上所得がある方への負担増配慮措置が令和7年9月30日で終了となっています。

よって、令和7年10月1日より、後期高齢者の負担割合は、

- 1割(一般の所得者)
- 2割(一定以上の所得がある方)
- 3割(現役並み所得者)

## 保険部だより

と分かれることとなります。

従いまして、負担割合が1割から2割に変更になっている方がいますので、今一度負担割合をご確認ください。



### 広告ガイドラインおよびリーフレットの公表について

厚生労働省より「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師及び柔道整復師に関する広告ガイドライン」のリーフレットが公開されています。

これまで柔道整復の広告については、これまでも「誰が・どこで・何を行うのか、という情報をしっかり

書きなさい。それ以上は広告してはいけません」というルールがありました。

しかし、情報化社会になった現在、広告について、これまでのようなルールでは不十分だと考えられるようになり、新たなガイドラインが作られています。

パンフレットのの一部を抜粋いたしますので再度ご確認ください。

#### 施術者について

##### ○ 広告可能な例

あん摩マッサージ指圧師 (国家資格保有)  
はり師・きゅう師 (国家資格保有)  
柔道整復師 (国家資格保有)

##### ✕ 広告不可な例 伝統鍼灸 整体

#### 施術所・名称

##### ○ 広告可能な例

A施術所 B施術院 C鍼灸院 D接骨院

##### ✕ 広告不可な例

A治療所 Bメディカル Cリハビリ  
女性専門療院 交通事故専門  
アスリート専門  
背骨専門 電気療法  
姿勢改善 背骨矯正

#### 電話番号・所在地

##### ○ 広告可能な例

フリーダイヤル 電話の受付時間 案内図

##### ✕ 広告不可な例

1374(いたみなし) 3776(みななおる)

#### ウェブサイト広告

##### ○ 掲載すべき情報

問い合わせ先  
自費の施術内容・費用  
自費の施術の主なリスク・副作用

##### ✕ 掲載すべきでないこと

“絶対安全”“絶対治る”という表現  
使用前後の写真の掲載  
口コミサイトで1位!

あはき・柔整広告ガイドライン  
2025年2月公表

あん摩 マッサージ指圧 はり きゅう 柔道整復

資格  
文部科学省 または 厚生労働省が認定した学校・養成施設で3年以上の教育を受けてさらに国家試験に合格した人のみが行える  
施術所を開設するときには都道府県知事・保健所に届け出る

整体・カイロプラクティック・リラクゼーション  
リフレクソロジー・骨盤矯正 など  
国家資格のない 民間療法



## 保険部だより

### 不支給決定、不当な返戻が多い保険者

#### 〈健保組合〉

- 【ア行】愛知県トラック業、アコム、旭化成、a z b i |グループ、アルバック、イオン、いすゞ、いなげや、医療機能推進機構、ウラベ、SGホールディングスグループ、NTN、NXグループ、エヌ・ティ・ティ、ENEOSグループ、荏原、オエノンホールディングス、大分銀行、大阪鉄商、大阪府貨物運送、岡野バルブ
- 【カ行】鹿児島信用金庫、神奈川県自動車販売、神奈川県電子電気機器、神奈川県電設、川崎汽船、関東百貨店、キャノン、九州電力、九電工、共愛会、京セラ、キリン、熊本県自動車販売店、神戸製鋼所、小倉記念病院、小松製作所
- 【サ行】サニーピア、サノフィ、サントリー、山九、産業機械、三和ホールディングス、ジェイアールグループ、自動車振興会、十八親和銀行、昭和鉄工、人材派遣、新日鉄、すかいらーくグループ、住商連合、住友化学、住友生命、住友ベークライト、セキスイ、セコム、セメント商工、センコー、全国外食産業ジェフ、総合警備保障、ソニー
- 【タ行】ダイハツ系連合、第一生命、大東建託、太陽生命、大和ハウス工業、タカラスタンダード、高田工業所、地域医療機能推進機構、池友会、駐留軍要員(支所)、黒崎播磨、テレビ朝日、東京広告業、東京西南私鉄連合、東京電子機械工業、東京都農林漁業団体、東京薬業、東芝、東洋紡、東糧、徳洲会、TOTO、トヨタ自動車(関連含む)、トランスコスモス
- 【ナ行】西日本シティ銀行、西日本新聞社、日油、日産自動車、日本金型工業、日本銀行、日本精工、日本生命、日本タンクステン、日本マクドナルド、日本旅行、ニューオータニ
- 【ハ行】パナソニック、パレット、バンテック、肥後銀行、日立造船、平田機工、フジクラ、富士通、富士フィルムグループ、フランスベッドグループ、プリチストン、堀場製作所
- 【マ行】マツキヨココカラ&カンパニー、丸井、三井E&S、三井ハイテック、三菱重工
- 【ヤ行】安川電機、ヤマトグループ
- 【ラ行】リクルート、リコー三愛グループ
- 【ワ行】若築建設、ワコール

#### 〈共済〉ガリバー/日本郵政共済、福岡市職員共済

オークス/北九州市職員共済、各県地方職員共済、各県市町村共済、各県警察共済、日本私立学校振興共済事業団  
メディブレーン/公立学校共済

#### 〈協会けんぽ〉東京支部、神奈川支部、富山支部、愛知支部、大阪支部、三重支部

#### 〈国保、後期高齢者広域連合〉沖縄市国保、浦添市国保、八重瀬町国保、うるま市国保、沖縄県後期高齢者医療広域連合

#### 〈国保組合〉全国土木建築国保組合

### 令和8年度 レセプト提出〆切日一覧表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レセプト提出〆切日	6日 (月) 17:00	7日 (木) 17:00	5日 (金) 17:00	6日 (月) 17:00	5日 (水) 17:00	7日 (月) 17:00	5日 (月) 17:00	5日 (木) 17:00	7日 (月) 17:00	5日 (火) 17:00	5日 (金) 17:00	5日 (金) 17:00

※レターパックをポスト投函する場合は〆切前日午前中までに投函してください。それ以降は郵便局に直接持込で送付手配してください。なお、上記〆切日に到着が間に合わない場合は、必ず県事務局へ連絡してください。(〆切厳守のこと)

# 表彰者紹介

公衆衛生事業功労者



厚生労働大臣表彰

筑後地区  
草場 義昭

公衆衛生事業功労者



日本公衆衛生事業  
功労者協会会長表彰

福岡地区  
中島 保幸

公衆衛生事業功労者



福岡県公衆衛生事業  
功労者県知事表彰

筑後地区  
古賀 龍児

公衆衛生事業功労者



福岡県公衆衛生事業  
功労者県知事表彰

福岡地区  
曲 淵 靖 洋

公衆衛生事業功労者



福岡県公衆衛生事業  
功労者理事長表彰

福岡地区  
松山 基博

公衆衛生事業功労者



福岡県公衆衛生事業  
功労者理事長表彰

北九州地区  
岩田 隆 司

公衆衛生事業功労者



福岡県公衆衛生事業  
功労者理事長表彰

北九州地区  
川邊 好 充



表彰者の皆さん

## 第34回

## 日本柔道整復接骨医学会学術大会

令和7年12月6日(土)・12月7日(日) 於 帝京平成大学中野キャンパス

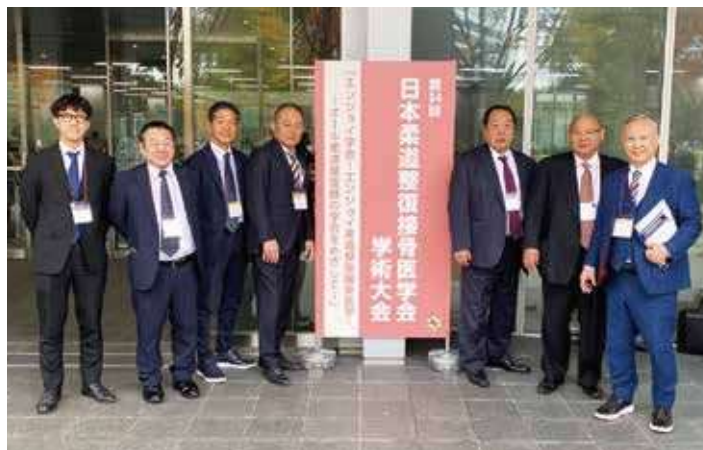


学術部長  
敷田和彦

第34回日本柔道整復接骨医学会学術大会は、令和7年12月6日(土)から12月7日(日)まで、帝京平成大学中野キャンパスにて開催されました。本大会は、柔道整復・接骨医学の最新の研究成果や臨床応用を共有し、専門家同士の交流を深める重要な学術大会です。

本大会では、九州学会で選出された私と徳永和也会員が発表を行いました。また、吉村喜彦会員による個人投稿の発表も行われ、それぞれの発表は、臨床現場での実践例や新たな施術技術についての内容で、多くの参加者から高い評価を得ました。いずれの発表も、質疑応答の時間を通じて積極的な意見交換が行われ、参加者の関心の高さを示しました。

その他、多様な分野や視点からの発表が行われ、特に超音波観察装置を用いた観察判断や施術の技術、スポーツ運動学、災害救護に関する研究が注目されました。また、従来の整復法や固定法だけでなく、新たな手技の紹介も発表されました。更にAIや3D技術を活用した新しい施術方法も紹介され、未来志向の臨床応用例が示されました。これらの多彩なテーマは、柔道整復師の臨床や施術の基礎、さらには今後の



発表者を囲んで

発展に役立つ貴重な情報であり、参加者にとって有益な発表を拝聴することができました。

なお、学会には会長をはじめとする全ての理事も参加され、学術の基礎や施術に役立つ情報、手技の向上に向けた議論が活発に行われました。本学会は、参加者が最新の知見を得るとともに、今後の臨床や研究活動に役立てることが期待されます。

今後も本学会は、最新の研究や技術を共有し、柔道整復・接骨医学の発展に寄与していく重要な役割を果たす学会でありますので、会員の皆様には積極的な参加をいただき、その技術や知見を日頃の施術に取り入れていただきたいと思います。



発表する敷田和彦会員



発表する徳永和也会員



発表する吉村喜彦会員

第44回

# 日整全国柔道大会

令和7年11月16日(日) 於 講道館



副会長  
重松哲夫

第44回日整全国柔道大会が令和7年11月16日(日)講道館にて7年ぶりに実施されました。今回から30代、40代、50代の3人制団体戦で行われました。

福岡県からは、九州ブロック代表として先鋒(30代)西宮大貴会員、大将(50代)檜山尚浩会員が出場しました。

全国から柔道大好きな柔整師が集い久しぶりに会う選手同士で嬉しそうに笑顔で会話していたのが印象的でした。

象的でした。

我九州ブロックは2回戦からの出場で関東ブロックに1対1代表戦で檜山(50)代表が6分間フル出場で勝利を勝ち取りました！

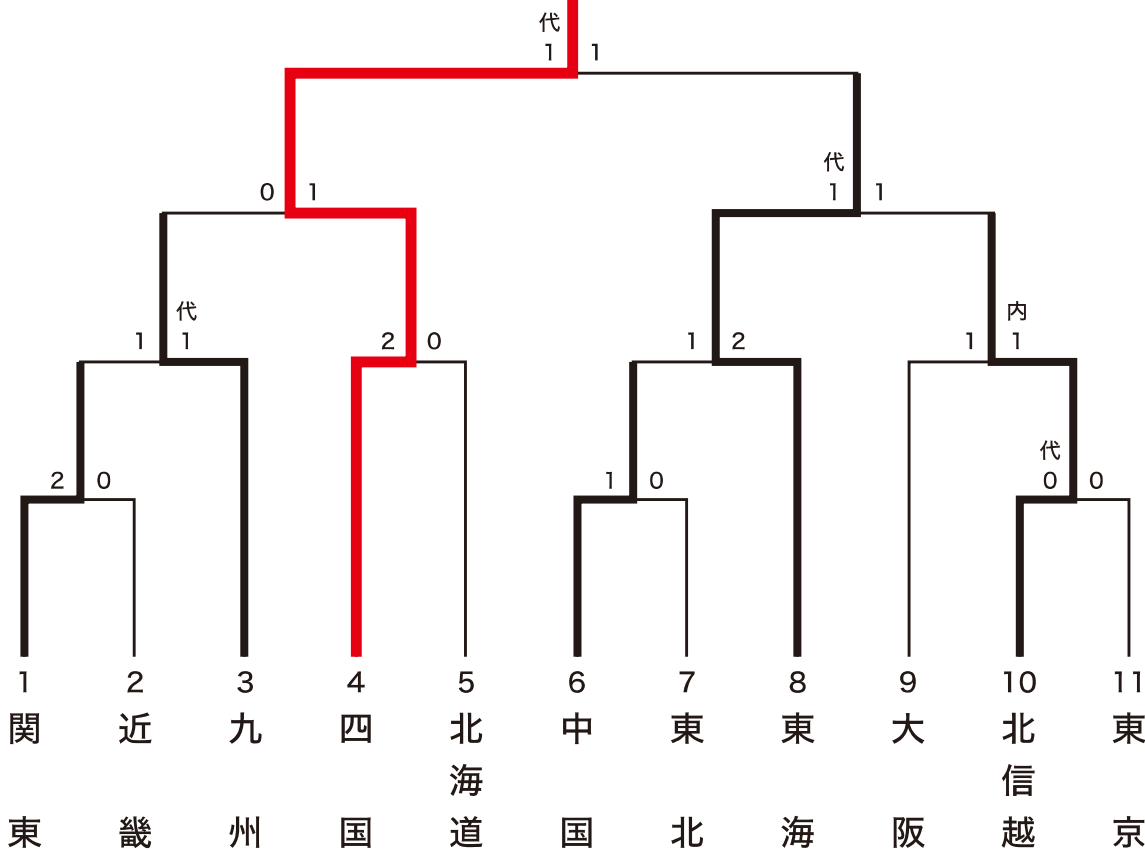
準決勝は四国ブロックで先鋒西宮選手が大応援団の声援を受ける中、果敢に攻めてましたが踏ん張った際左足近辺にパキッという嫌な音が響きました。これはヤバイと思い止めようとしたましたが声援の中『大丈夫、大丈夫行け〜』と後押しされ試合続行しましたが健闘虚しく敗戦となりました。

3位は大健闘です。西宮選手は翌日病院で下駄骨折と診断されギプスをしたまま患者さんを施術されたとの事です。患者さんからお大事にしてくださいと労りの言葉をかけられたそうです。

来年は優勝が期待できそうです。

## 第44回日整全国柔道大会 試合結果

**優勝 四国**





第52回

## 九州学術大会沖縄大会

令和7年10月18日(土) 於 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城



学術部長  
敷田 和彦

令和7年10月18日(土)、ダブルツリー byヒルトン那覇首里城において、第52回日整九州学術大会沖縄大会が開催された。本大会には九州各県より多くの会員および学生が参加し、活発な学術交流が行われた。

当県からは、徳永和也会員が「立位体前屈における足底筋膜の影響について」、私が「足関節背屈運動による下腿三頭筋の柔軟性獲得について」と題し、研究論文発表を行った。また、各県からの九州学会審査を通過した他6編の研究論文発表および佳作論文の5編のポスター発表が行われた。いずれの発表も日常臨床に直結する内容が多く、非常に有意義であった。

さらに、日整学術教育部による講演として「匠の技伝承プロジェクトの意義について」および「エ



会場の様子



発表する敷田和彦会員



発表する徳永和也会員

コーを柔整師の手に」が行われ、整復固定実技や超音波画像観察装置を用いたワークショップを通じて、実践的な知識と技術を学ぶ機会が提供された。

特別講演では、友愛医療センター人工関節センター長の永山盛隆先生より「四肢の外傷と関節疾患」と題した講演が行われ、医師の視点からみた傷病評価や柔道整復師が施術時に留意すべき点など、医接連携の重要性について貴重な示唆をいただいた。

学会終了後には同会場にて後夜祭が盛大に開催され、県域を超えた会員同士の交流が深まり、今後の連携強化につながる有意義な場となった。

開催県である(公社)沖縄県柔道整復師会の学術部をはじめとした関係者の皆様に敬意を表すとともに、来年度の長崎大会での論文発表が実現できるよう論文作成、そして学術活動を邁進していきたい。

令和7年度

# 匠の技伝承プロジェクト



学術部長  
敷田 和彦

「柔道整復術公認100年記念」の一環として、日本伝統医療継承事業による骨折、脱臼の徒手整復・固定、後療及び超音波観察装置(エコー)実技研修により、確かな知識と技術を継承し後世に伝承できる柔道整復師の育成を目的に、令和3年9月から始まった養成講座が匠の技伝承プロジェクトです。

これまで4年間で橈骨遠位端骨折、肩甲上腕関節脱臼、外果骨折、顎関節脱臼、鎖骨骨折・肋骨骨折、肘関節後方脱臼(肘内症を含む)、手指の骨折・脱臼を履修してまいりました。当県より指導者候補として、福岡地区秋穂一雄会員、福岡地区安永岳会員、筑豊地区角田慈佑会員、久留米大牟田地区山崎悟会員の4名が参加しています。

令和7年度の第一回講習会は4月13日(日)に開



講習会の様子

催され東日本の各県の受講者が東京の日本柔整会館に出席し「手指の骨折・脱臼」と「足指の骨折・脱臼」の整復固定実技、同部位の超音波画像描出の実技の試験が行われました。

8月17日(日)開催の第二回講習会に当県より角田慈佑会員、安永岳会員の2名が対面参加し無事合格しております。受講した会員は「各県で匠の技伝承プロジェクト講習会が開催された際には、受

講者に対して有益な情報を伝達できるように準備して、今後の講習に備えていきたい」と決意を新たにしています。

第三回講習会は11月30日(日)開催で「足関節周囲の骨折(外果骨折)」、「顎関節脱臼」の講習を整骨会館においてオンライン受講しました。

次回の第四回講習会は令和8年2月8日(日)に鎖骨骨折・肋骨骨折のフォローアップ講習が開催の予定です。



講習会の様子

第43回

柔整旗争奪 福岡県少年柔道大会

令和7年9月7日(日) 於 福岡武道館



大会委員長  
西宮裕二

令和7年9月7日(日)福岡武道館に於いて柔整旗争奪第43回福岡県少年柔道大会が開催されました。

この大会は、青少年の健全育成と柔道競技の普及を目的に開催され、地域福祉活動に関する重要な本会の公益事業となっています。

今回は49チーム239名の小学生による団体戦で行われ11月に開催される日整全国少年柔道大会の予選を兼ねています。

開会式では、塩川会長の挨拶の後、福岡県代表として日整全国少年柔道大会「形の部」に出場する大野城南柔道クラブの選手による「投げの形」を披露して頂き、会場より盛大な拍手を受けていました。

試合開始後は、随所で熱戦が繰り広げられ、決勝戦では2年連続決勝に進出した善柔館と、初の決勝戦に駒を進めた滴水館との試合となり、接戦の末、善柔館が連覇を果たし日整全国少年柔道大会の切符を手にしました。

この大会も、今回で43回目の開催となりましたが、永き良き伝統を受け継ぎ、更に充実した大会となるよう尽力していきたいと思えます。

最後になりましたが、本大会開催にあたりご支援ご協力頂いた関係各位の皆様、並びに大会運営係として早朝よりお手伝い頂いた、本会会員の先生方に深く感謝申し上げます。

〈団体戦の部〉



優勝 善柔館



準優勝 滴水館



3位 高武館



3位 遠賀町青少年柔道クラブ

〈形の部〉



大野城南柔道クラブ  
(取)榊原和泉 (受)中原風香

第34回

# 福岡県整骨医学会

第34回

# 生涯学習研修会

令和8年3月8日(日) 於 電気ビルみらいホール



学術部長  
敷田 和彦

令和8年3月8日(日)午後1時より電気ビルみらいホールで開催されました。出席者は会員126名、学生及び一般112名の合計238名の出席となりました。

特別講演は、天翠会小倉きふね病院 整形外科・(一社)福岡県ラグビーフットボール協会メディカルソサエティ委員長 櫻井立太先生に「スポーツ現

場での初期対応～脳震盪から外傷まで～」と題してご講演を賜りました。ラグビーの救護現場で実際に体験された事例を基に、脳震盪のレベル判断方法や復帰までの予後、柔道整復師が救護の際に注意すべき点などを講演され、今後我々がそのような事態に遭遇した際の対応を深く知ることができました。

また、生涯学習研修会特別講演として、日本赤十字社福岡県支部 福岡大輔事業課長に「日本赤十字社が実施する災害救護活動」と題してご講演を賜りました。日本赤十字の社会的な位置づけや活動内容をご紹介いただき、災害時に柔道整復師や個人においてもどのようにボランティア活動に参加



塩川学会長・敷田実行委員長と発表者

## 福岡県整骨医学会・生涯学習研修会

### 発表者



#### 立顎関節可動域改善を 目的とした クリップ押圧器具の 開発と臨床的応用

福岡地区共同研究

秋穂 一雄 安永 岳  
三角真由美 中野美保子



#### 足底筋膜刺激及び 足関節テーピング固定の 立位体前屈および腰部痛に 対する効果の比較

北九州地区共同研究

遠山 昌代 上田 卓史  
中島 国成 竹田有輝治

し、協力できるのかをご教示いただきました。

会員による研究論文は、本年度より学術部が主導し作成された2編の論文が実技を交えて発表されました。限られた時間の中で、論文作成にご尽力いただいた論文作成者および学術関係の皆様には、心より御礼申し上げます。

学会で発表された福岡地区 秋穂一雄会員と北九州地区 遠山昌代会員の論文が、(公社)日本柔道整復師会九州学会への応募論文と決定いたしました。

そして生涯学習研修会の特別発表として、超音波観察装置委員会の皆様より「超音波のふるまいと手関節周囲の超音波観察」、また、日整匠の技伝承プロジェクトの皆様より「橈骨遠位端骨折の超音波観察、整復、固定」と題して、併せて50分の持ち時間をフルに使っての充実した発表を行って頂きました。

発表者の先生方におかれましては、大変お疲れ様でした。

本年度より県の役員体制も刷新され、今学会開催に対しても新しい発表方法、新たな取り組みの企画・運営までご協力いただきありがとうございました。

実行委員長として今回の学会が、無事大会を盛会裏に終了しましたことに深謝いたします。

来年度も来場していただく皆様に、さらにアップロードされた学会が、お届けできるよう学術部員と共に頑張っていく所存でございますので、会員皆様の叱咤激励とご協力、ご理解をお願い申し上げます。



講演の様子



実技の様子



実技の様子

令和7年度

# 各地区保険研修会



保険部長  
白木雅巳

今年度の各地区保険研修会は支部廃止に伴う変更により、福岡県の行政区分である、福岡、北九州、筑豊、久留米の4地区に再編され開催されました。

●筑後地区

令和7年8月23日(土) 石橋文化会館小ホール

●北九州地区

令和7年8月30日(土) 北九州商工貿易会館

●筑豊地区

令和7年9月20日(土) 飯塚市二瀬交流センター

●福岡地区

令和7年10月4日(土) 福岡県整骨会館

研修会は例年とは大きく様変わりし、塩川会長、重松副会長挨拶に続き西宮総務部長、久保山経理

部長、白木保険部長、敷田学術部長、柴田広報部長、後藤事務局長からそれぞれの部署における最新の取り組みについて説明がありました。

- 総務／組織の未来を見据えた戦略と会員支援の強化
- 経理／節税対策、事業承継、災害対策、労災の実務対応について
- 保険／お知らせと各種実務対応について
- 学術／学術部の構成、事業、論文作成について
- 広報／広報活動の意義、役割、活動計画について
- 事務局／会員の福利厚生について

本研修会はコロナ禍によるオンライン開催期間を経ながらも、おかげさまで19年目を迎えることができました。

会員の皆様が、(公社)福岡県柔道整復師会の会員で良かったと言って頂けるよう、理事者が一丸となって施策に取り組んでまいります。今後も毎年継続してまいりますので皆様のご協力よろしくお願ひ申し上げます。



挨拶する塩川会長(北九州地区)



研修会の様子(筑豊地区)



会場の様子(北九州地区)



挨拶する重松副会長(筑豊地区)

令和7年度

# 超音波観察装置研修会

令和7年11月30日(日) 於 福岡県整骨会館



超音波観察装置委員会委員長  
大原 康宏

令和7年11月30日(日)に整骨会館で9時30分～12時まで超音波観察装置研修会が開催されました。

今回は会員32名、福岡医療専門学校と九州医療専門学校の学生11名、引率の教員2名の総勢45名の参加がありました。

塩川会長、委員長の挨拶の後、堤委員・和田委員より超音波観察装置の基礎及び、今回のテーマである手指の描出の方法と注意点を、実技を交えてお話がありました。その中で音響工学の分野の説明では、参加者より質問があり、この分野では皆さん多くの疑問を抱えていることがわかりました。

その後、角田委員から問診・視診・触診がいかに重要であり、三診の結果を確認するために超音波画像を描出するというお話があり、症例の超音波画像を示しながら病態のお話、その後の処置などを具体的に講義されました。

今回のテーマである手指損傷の代表例であるマレットフィンガーでは、タイプⅢでも医科の手術に頼らず、保存療法で施療できるケースもあるというエビデンスを示され、超音波画像を示しながら症例の説明があり、実際行われた整復動作の動画を見せて頂き大いに参考になりました。

また委員長の挨拶の中では、今後柔道整復師の療養費に、超音波検査の加算をして頂くことを、厚生労働省にお願いする運動が始まっている事のお話があり、もし実現されれば柔道整復師が超音波観察装置を使用する根拠が盤石になるという内容でした。

その後参加者は、各ブースに分かれ超音波観察装置を実際に操作しながら、超音波観察装置委員に活発に質疑をされていました。皆さん非常に熱心で終了時間ギリギリまで質問され、その後に行われる行事の担当者から「次の予定があるのでそろそろ終わってもらえませんか」と言われる次第でした。

ようやくここにきて会員の皆様のエコーに関する興味が高まってきた感じがありました。次回は令和8年3月8日(日)の福岡県整骨医学会での発表があります。その時は匠の技とコラボしての発表となる予定ですので、皆様楽しみにしてください。



会場の様子



実技の様子

令和7年度

# 新入会員保険研修会

令和8年3月7日(土) 於 福岡県整骨会館



保険部長  
白木 雅巳

令和8年3月7日(土)15:00より、福岡県整骨会館において「令和7年度新入会員保険研修会」を開催しました。

対象者は令和7年1月から12月までに入会した18名で、参加者は13名、欠席者5名でした。

欠席された会員には3月27日(金)に再度研修会を実施、受講していただく予定です。

研修会では、始めに塩川会長より挨拶があり、本

日の研修会の目的などの説明がありました。続いて、保険指導を担当する理事の先生方をご紹介いたしました。そして、西宮総務部長より「令和6年度柔道整復療養費及び施術料金の実態調査」について詳しい説明がありました。

その後、対面式で研修が行われ、参加者は持参した施術録、日計表等の確認及び指導を受けました。

最後は私からは不正請求、水増し請求を行わないよう注意喚起を行い、研修会は無事に終了しました。

新入会員の皆様には、今回の研修を通して保険制度への理解を深め、適正な施術を行っていただくようお願い申し上げます。



塩川会長挨拶



会場の様子



説明をする久保山経理部長



会場の様子

令和7年度

# 新入会員 紹介



筑後地区  
オカ モト モリ キ  
岡本 守輝

入会年月日 / R7.4.1

福岡医健専門学校 H26年卒



福岡地区  
マツ ガノ リョウ ヘイ  
松ヶ野 凌平

入会年月日 / R7.4.1

福岡医療専門学校 H28年卒



福岡地区  
エリ グチ ショウ タ  
江里口 将太

入会年月日 / R7.4.1

福岡医療専門学校 H27年卒



福岡地区  
ミナミ トシ ユキ  
南 俊行

入会年月日 / R7.4.28

明治東洋医学院 H23年卒



福岡地区  
ナカ ムラ ヒロシ  
中村 浩

入会年月日 / R7.5.30

九州医療専門学校 R2年卒



福岡地区  
ヤマ ダ ダイ スケ  
山田 大輔

入会年月日 / R7.5.22

福岡医療専門学校 H25年卒



福岡地区  
ヤマ グチ ナ ナ  
山口 奈々

入会年月日 / R7.7.1

福岡天神医療リハビリ専門学校 R3年卒



福岡地区  
ヒ ノマ ケイ スケ  
日沼 慶祐

入会年月日 / R7.7.10

福岡医健・スポーツ専門学校 H28年卒



北九州地区  
ミヤ サト タク ミ  
宮里 拓巳

入会年月日 / R7.7.16

九州医療スポーツ専門学校 H24年卒

## 新入会員紹介



北九州地区

コ サト ショウ ヤ  
小里翔哉

入会年月日／R7.10.1

福岡医療専門学校 R2年卒



福岡地区

オオデ キ ヨウ コ  
榑木陽子

入会年月日／R7.10.10

福岡医療専門学校 H25年卒



北九州地区

サカ イ ヨシ ノリ  
酒井佳則

入会年月日／R7.10.23

福岡医療専門学校 H20年卒



北九州地区

モモ サカ ダイ キ  
桃坂大樹

入会年月日／R7.10.20

九州医療スポーツ専門学校 H28年卒



筑後地区

サカ エ ケン イチ  
坂恵謙

入会年月日／R7.11.28

福岡天神医療リハビリ専門学校 H22年卒



筑後地区

ワタ ナベ タイ ソウ  
渡邊泰三

入会年月日／R8.1.1

福岡医健専門学校 H22年卒



筑豊地区

ハセガワ ヒロシ  
長谷川寛

入会年月日／R8.1.1

福岡医療専門学校 H24年卒



福岡地区

オノ チ エ  
小野智絵

入会年月日／R8.1.1

福岡医療専門学校 H18年卒



北九州地区

オカ ノ カツ モリ  
岡野勝守

入会年月日／R8.1.1

九州医療スポーツ専門学校 H26年卒



福岡地区

マツ ダ ヨシ アキ  
松田祥明

入会年月日／R8.2.26

福岡医療専門学校 H29年卒

# 事務局より

事務局長 後藤 祐 司

先生方におかれましては、平素より事務局業務にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。2025年度は本会の機構改革が行われ、4月1日より永年親しんできた支部が廃止され、福岡地区、北九州地区、筑豊地区、筑後地区の行政区域での管理は運営上として残りますが、福岡県全県下一本での運営となりました。

支部を廃止するという事で一部心配の声もありましたが、基本的な運営体制や会員間の繋がり、事務局機能に何ら変わりはありませんので、懸念されていたマイナス面は見られず、寧ろ公益法人としての運営にとってプラス面として働いたように思われます。

また、2025年4月1日に実施された公益法人制度改革によって、外部理事、監事制度の導入が必須となりました。当面の猶予期間もありましたが、本会は全国に先駆けて本会運営に造詣が深い司法書士、公認会計士の先生を外部理事、監事として理事会で選任し、総会で承認を頂くことができました。

よって、2025年度からは本会の運営や指針が大きく変わり、会員の先生方もその変化を肌で感じて頂いたのではないかと考えております。

業界に目を向けますと、10年位迄は毎年1000院

くらい整骨院が増えていましたが、2018年をピークに毎年100件程度と1/10まで減っています。現在の状況を鑑みますと、2018年以前の水準に戻ることは考えにくく、後継者の不在や売り上げ不振に伴う廃業もあるため、今後は実態として横ばい若しくは減少に転じていく可能性すらあります。

整骨院を取り巻くフェーズが変わってきた現在においては、怪我を治すという原点に回帰することと、新しいニーズや時代に沿って形を変えることの両方が必要となってくると思われれます。

本年も事務局職員一同、常にアンテナを張って本会の現状を分析し、そこから浮かび上がる課題や問題点を執行部へ積極的に提案することで、解決への道筋を見いだしていきたいと考えています。また、先生方の様々なニーズに応えるため、有益な情報を適切なタイミングでお届け出来るよう努力して参ります。

そして、先生方のどんなご意見でも真摯に耳を傾け、本会に在籍していて良かったと言って貰える事務局でありたいと思います。

引き続き事務局に対し温かいご支援とご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



事務局職員 左上から清原、岩佐、高橋、後藤、宮田

## 会員 訃 報

篠原 幸治 会員（北九州地区） 享年 57才 令和7年12月29日没

心からご冥福をお祈りいたします。

## 投稿についてのお願い〈広報部〉

広報部では、福整広報を発行しております。掲載させて頂く原稿を募集しております。

広報部より、原稿を依頼致します。其の折には御協力よろしくお願い申し上げます。  
※問い合わせは県事務局迄お願いします。

## 原稿提出の要項

- 1 / 原稿は、はじめにタイトル、続いて支部名、氏名を記入し本文をお書きください。
- 2 / 原稿の提出は、県事務局へEメールで、原稿を文書ファイルで添付してお送りください。
- 3 / 原稿送付の際に、写真、図、イラスト等ありましたら一緒にお送りください。顔写真も画像ファイルでメールに添付してください。
- 4 / 投稿に関する詳しいお問い合わせは、県事務局まで、お気軽にお尋ねください。
- 5 / 原稿は随時受け付けいたします。皆様からのたくさんの原稿をお待ちしております。

E-mail: judo@seikotsuin.or.jp

## ■表紙の写真に添えて

### 新福岡武道館



今号の表紙の写真は、福岡県庁近く福岡市民体育館に隣接する新福岡武道館です。

昨年末に旧福岡武道館が閉館し、地下1階地上4階の新福岡武道館が建立されました。

特に武道場は、柔道場4面、剣道場4面、観客席1022席と広くなって9月に行われる予定の柔整旗争奪少年柔道大会も楽しみです。

ここからまた素晴らしい試合が行われ、たくさんのメダリストが誕生することでしょう。

皆さんも子供たちの熱戦を応援しながら、新しい武道館の見学に訪れてみてはいかがでしょうか？

広報部長 柴田 修一

## 編集後記

福整広報No.52が発行されるにあたり、お忙しい中原稿をお寄せくださいました先生方に、心より謝辞を申し上げます。

今号から支部活動報告が無くなり各理事、監事の年頭あいさつに変わりました。

また今年度から外部理事の原口智吉先生、外部監事の峯昌広先生が加わり、外から見た柔道整復師会の在り方を共に模索して頂いております。

先生方には貴重な時間を割いて丁寧な原稿をお寄

せ頂きました。

福整広報は、公益社団法人福岡県柔道整復師会の行事や活動が掲載されてる記録誌であり、我々の目指すべき方向性を示してくれるものだと思います。

最後に皆様のご多幸とご健勝を祈念して、編集後記とさせていただきます。



広報部長  
柴田 修一

福整広報 第52号



公益社団法人 福岡県柔道整復師会 機関誌